

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-073999

(43)Date of publication of application : 12.03.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G07D 9/00

G07F 19/00

(21)Application number : 2000-253859

(71)Applicant : DAI-ICHI KANGYO BANK LTD

(22)Date of filing : 24.08.2000

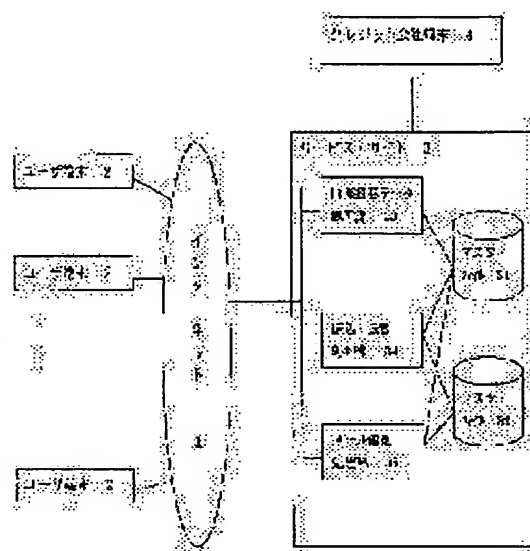
(72)Inventor : TAKAGI YURI

## (54) AUTOMATIC PAYING/TRANSFERRING SERVICE SYSTEM TO CREDIT PAYMENT ACCOUNT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To deliver information relating to the balance of a credit payment account on the internet, and to pay/transfer a shortage.

SOLUTION: A service site 3 receives account transfer data from a credit company terminal 4. If an account transfer data processing portion 33 determines that the balance of the credit payment account is smaller than the total payment amount of this month, a mail edit processing portion 35 prepares a notice including the data of 'a balance shortage' on the basis of the data from the account transfer data processing portion 33, and sends the notice to a user terminal 2 through the internet. When a user opens an electronic mail and clicks on 'a automatically paying/transferring button', a paying/transferring processing portion 34 sends a paying/transferring screen to the user terminal 2. Application of automatically paying/transferring is interactively conducted, so that the process of paying/transferring the shortage from a paying/transferring source account to the credit payment account is carried out. Therefore, the user can use a credit card without worrying about the balance of the account.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-73999

(P2002-73999A)

(43)公開日 平成14年3月12日(2002.3.12)

(51)Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 S 3E040
	5 0 2		5 0 2 5B049
G 0 7 D 9/00	4 3 6	G 0 7 D 9/00	4 3 6 B 5B055
G 0 7 F 19/00			4 7 6

審査請求 未請求 請求項の数 4

O L

(全5頁)

(21)出願番号 特願2000-253859(P2000-253859)

(22)出願日 平成12年8月24日(2000.8.24)

(71)出願人 592259978

株式会社第一勧業銀行

東京都千代田区内幸町1丁目1番5号

(72)発明者 高木 ゆり

東京都千代田区内幸町1丁目1番5号 株式会社第一勧業銀行内

(74)代理人 100089705

弁理士 社本 一夫 (外5名)

Fターム(参考) 3E040 BA18 CB04 EA01

5B049 BB46 GG02

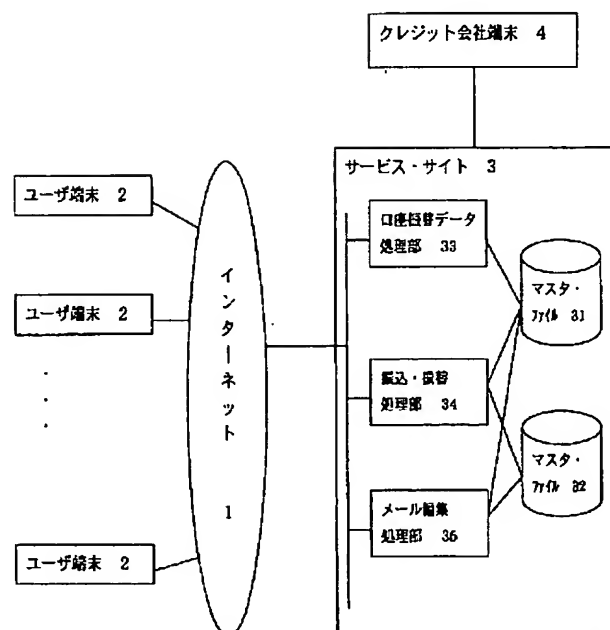
5B055 CB08 CB09 PA36

(54)【発明の名称】クレジット決済口座への自動振込・振替サービス・システム

(57)【要約】

【課題】インターネット上で、クレジット決済口座の残高についての情報を配信し、不足分を振込・振替する。

【解決手段】サービス・サイト3がクレジット会社端末4からの口座振替データを受け取り、口座振替データ処理部33が、クレジット決済口座の残高が今月分引落金額よりも少ないと判定すると、メール編集処理部35が、口座振替データ処理部33からのデータに基づいて、「残高不足分」のデータを含んだ通知書を作成し、インターネット1を介してユーザ端末2に配信する。ユーザが、電子メールを開封し、通知書に組み込まれた「自動振込・振替ボタン」をクリックすると、振込・振替処理部34が、振込・振替画面をユーザ端末2に送信し、対話的に自動振込・振替の申込がなされ、振込・振替元口座からクレジット決済口座への不足分の振込・振替の処理が実行される。これにより、ユーザは、口座残高を気にすることなく、クレジット・カードを使用できる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 残高不足のクレジット決済口座に対して、振込・振替をネットワークを介して実行するサービス・システムにおいて、該システムに含まれるサービス・サイトが、

クレジット会社から送られた口座振替データに含まれる各ユーザの今回の引落金額と、当該ユーザのクレジット決済口座の残高とを対比して、口座残高が引落金額よりも少ないか否かを判定し、口座残高が引落金額よりも少ない場合に、残高不足分を計算する口座振替データ処理手段と、

口座振替データ処理手段によって計算された残高不足分を、ユーザ端末にネットワークを介して配信する配信処理手段と、

ユーザ端末からネットワークを介して自動振込・振替依頼信号を受け取った場合に、振込・振替の処理に必要なデータをユーザ端末に送信し、かつ、該データの確認信号をユーザ端末から受け取った場合に、クレジット決済口座への振込・振替の処理を実行する振込・振替処理手段とからなることを特徴とするサービス・システム。

【請求項2】 請求項1記載のサービス・システムにおいて、配信処理手段はさらに、

ユーザがユーザ端末の画面上でクリックすることにより自動振込・振替依頼信号をサービス・サイトに返送することが可能な振込・振替ボタンを、残高不足分のデータとともにユーザ端末に配信するよう構成されていることを特徴とするサービス・システム。

【請求項3】 請求項1又は2記載のサービス・システムにおいて、配信処理手段はさらに、

口座振替データ処理手段によって口座残高が引落金額よりも少ないと判定された場合、残高不足分とともに今回の引落金額及びクレジット決済口座残高をユーザ端末に配信し、

口座振替データ処理手段によって口座残高が引落金額以上であると判定された場合、今回の引落金額をユーザ端末に配信するよう構成されていることを特徴とするサービス・システム。

【請求項4】 請求項1～3いずれかに記載のサービス・システムにおいて、配信処理手段はさらに、

クレジット会社から送られた各ユーザのクレジット・カードの利用代金明細書を、他のデータとともにネットワークを介してユーザ端末に配信するよう構成されていることを特徴とするサービス・システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の技術分野】本発明は、クレジット・カードに関する情報のネットワーク上のサービス・システムに関し、より詳細には、クレジット・カードの決済口座の残高が不足の場合に、ユーザが、該クレジット決済口座に対する振込・振替をネットワークを介して実行すること

ができるサービス・システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】現在、クレジット会社では、各ユーザのクレジット・カードの利用代金明細書を作成して、利用代金決済日の10日程度前に、ユーザに郵送している。また、ユーザがクレジット会社のインターネット上のホームページにアクセスすることにより、該ユーザのクレジット・カードの利用代金明細やポイント・プログラムのポイント残高を照会するサービスも実現されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ユーザは、郵送されてきた又はホームページにアクセスして入手した利用代金明細書をみて、クレジット決済口座の残高が不足していないかどうかを、ユーザ自身で確認する必要がある。また、クレジット決済口座の残高が不足している場合には、ユーザは、一般に、決済日が到来する前に、銀行に赴いて不足分のクレジット決済口座への入金手続をとる必要がある。

【0004】したがって、クレジット決済口座の残高は、ユーザが自ら確認を行わない限り、知ることができず、残高確認を怠ったがために、決済日に不足が生じてしまうことがある。また、自ら確認によりクレジット決済口座の残高が不足していることが分かって、不足分を補充するために、他の口座から金額を引き出してクレジット決済口座に入金する必要がある、煩雑である。このようなことから、ユーザは、クレジット・カードの利用を控えたりすることがあり、したがって、クレジット・カードの利用拡大を妨げている一因となっている。

【0005】本発明は、このような従来例の問題点に鑑みてなされたものであり、その目的は、クレジット決済口座に対して、ユーザがインターネット上で残高不足分を振込・振替できるようにしたサービス・システムを提供することである。本発明の他の目的は、クレジット・カード利用に関する種々のデータをインターネット上でユーザに配信することができるサービス・システムを提供することである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記した目的を達成するために、本発明に係る、残高不足のクレジット・カード決済口座に対して、振込・振替をネットワークを介して実行するサービス・システムにおいて、該システムに含まれるサービス・サイトが、クレジット会社から送られた口座振替データに含まれる各ユーザの今回の引落金額と、当該ユーザのクレジット決済口座の残高とを対比して、口座残高が引落金額よりも少ないか否かを判定し、口座残高が引落金額よりも少ない場合に、残高不足分を計算する口座振替データ処理手段と、口座振替データ処理手段によって計算された残高不足分を、ユーザ端末にネットワークを介して送信する送信処理手段と、ユーザ端末からネットワークを介して自動振込・振替依頼信号

を受け取った場合に、振込・振替の処理に必要なデータをユーザ端末に送信し、かつ、該データの確認信号をユーザ端末から受け取った場合に、クレジット決済口座への振込・振替の処理を実行する振込・振替処理手段とを含んでいることを特徴としている。

【0007】上記したサービス・システムにおいて、好適には、配信処理手段はさらに、ユーザがユーザ端末の画面上でクリックすることにより自動振込・振替依頼信号をサービス・サイトに返送することが可能な振込・振替ボタンを、残高不足分のデータとともにユーザ端末に配信するよう構成されている。さらに好適には、配信処理手段はさらに、口座振替データ処理手段によって口座残高が引落金額よりも少ないと判定された場合、残高不足分とともに今回の引落金額及びクレジット決済口座残高をユーザ端末に配信し、口座振替データ処理手段によって口座残高が引落金額以上であると判定された場合、今回の引落金額をユーザ端末に配信するよう構成されている。さらにまた、配信処理手段はさらに、クレジット会社から送られた各ユーザのクレジット・カードの利用代金明細書を、他のデータとともにネットワークを介してユーザ端末に配信するよう構成されていることが好ましい。

#### 【0008】

【発明の実施の態様】図1は、本発明に係るサービス・システムの一実施例の概略構成を説明するためのブロック図を示しており、1はインターネット、2は利用者すなわちユーザのパーソナル・コンピュータ等からなるユーザ端末、3は銀行のサービス・サイト、4はクレジット会社のコンピュータ端末（クレジット会社端末）である。ユーザ端末2はサービス・サイト3にインターネット1を介して接続されており、一方、クレジット会社端末4はサービス・サイト3に専用回線を介して接続されている。なお、クレジット会社端末4とサービス・サイト3とをインターネット1を介して接続してもよく、また、インターネット1の代わりに任意のネットワークを利用可能である。さらに、サービス・サイト3とクレジット会社端末4とを通信回線を介して必ずしも接続する必要がなく、サービス・サイト3がクレジット会社からデータを記憶した記憶媒体を受け取るようにしてもよい。サービス・サイト3は、ユーザのクレジット決済口座に関する、入金、引出、振込、振替、引落、残高等のデータを格納したマスタ・ファイル31、ユーザの住所、電話番号、メール・アドレス、振込・振替元口座番号等を格納したマスタ・ファイル32、口座振替データ処理部33、振込・振替処理部34、及びメール編集処理部35を備えている。なお、マスタ・ファイル31及び32は、1つのファイルとして構成されてもよく、また、それぞれに格納されるデータの組み合わせも、適宜変更可能である。

【0009】図1に示したサービス・システムにおいて

実行される動作を、サービス・サイト3において実行される処理のフローチャートを示した図2を参照して、説明する。まず、ステップS1において、サービス・サイト3は、クレジット会社端末4から、各月の所定日に、口座振替データを受け取る。上記したように、記憶媒体の形態で口座振替データを受け取ってもよい。該口座振替データは、サービス・サイト3のプロバイダである銀行にクレジット決済口座を有するユーザが使用クレジット・カードの利用代金（クレジット決済金額）を通知するためのものである。口座振替データを受け取ったサービス・サイト3は、口座振替データ処理部33において、ステップS2で、各ユーザの該口座振替データに含まれる今月の各ユーザのクレジット引落金額が、マスタ・ファイル31に格納されている当該ユーザのクレジット決済口座の残高よりも少ないか否かを判定する。

【0010】クレジット決済口座の残高が今月分の引落金額以上である場合、ステップS3に進み、メール編集処理部35は、口座振替データ処理部33からのデータ及びマスタ・ファイル32のデータに基づいて、当該ユーザの「今月分引落金額」のデータを含んだ通知書を作成し、該通知書をインターネット1を介してユーザ端末2に配信する。一方、クレジット決済口座の残高が今月分引落金額よりも少ない場合は、ステップS4に進み、メール編集処理部35は、口座振替データ処理部33からのデータに基づいて、「今月分引落金額」、「クレジット決済口座残高」、及び「残高不足分」のデータを含んだ通知書を作成し、さらに該通知書に「自動振込・振替ボタン」を組み込み、そして、インターネット1を介してユーザ端末2に配信する。

【0011】ユーザは、サービス・サイト3との間で、電子メール開封のためのユーザID及びパスワードを予め決定しており、該ユーザID及びパスワードを用いて、サービス・サイト3から配信された電子メールを開封する。ユーザ端末2は、電子メールを開封した時点で、「配達証明」をサービス・サイト3に返送する。サービス・サイト3のメール編集処理部35は、ステップS5において、ユーザ端末2から返送された「配達証明」を受け取り、ステップS6において、「配達証明」を返送したユーザが「残高不足分」を含んだ通知書を送ったユーザであるかどうかを判定する。通知書に「残高不足分」が含まれていないユーザである場合、処理は終了する。

【0012】一方、「残高不足分」を含んだ通知書を送ったユーザである場合、ステップS6からステップS7に移行し、ユーザからの次の指示、すなわち、開封した通知書に組み込まれた「自動振込・振替ボタン」をユーザがクリックしたか否かを示す自動振込・振替依頼信号のユーザ端末2から返送を、所定時間（例えば、数分程度）待機する。該依頼信号が所定時間以内に到着した場合には、ステップS8において、振込・振替処理部34

10

20

30

40

50

は、自動振込・振替を行う際に必要となるデータを示した振込・振替画面をユーザ端末2に送信し、該ユーザ端末2のモニタ・スクリーンに表示する。振込・振替画面には、「振込・振替元口座番号」、「クレジット決済口座不足分」に相当する「振込・振替金額」、及び「確認ボタン」が含まれている。「振込・振替元口座番号」は、ユーザが予め銀行に通知した給与振込等の口座番号であり、クレジット決済口座の残高が不足のときに該決済口座に対して振込を行うための振込元の口座である。「振込・振替元口座」は、上記したように、マスタ・ファイル31に格納されている。

【0013】ユーザは、表示された振込・振替画面をみて、予め設定した資金移動用パスワードを入力し、必要に応じて「振込・振替金額」に所定金額を加算することによって修正し、そして、「確認ボタン」をクリックすると、ステップS9において、それらの情報が振込・振替処理部34において受信される。これにより、振込・振替部34は、ステップ10において、振込・振替元口座からクレジット決済口座への不足分の振込・振替の処理を実行する。そして、その結果に基づいて、マスタ・ファイル31中の当該ユーザに関するデータを更新し、処理の完了を処理結果とともにユーザ端末に通知する。ステップS7において、振込・振替部34がユーザ端末2から所定時間以内に自動振込・振替依頼信号を受信しない場合、ユーザが他の方法によって不足分を補充するであろうと推察し、処理を終了する。

【0014】上記においては、サービス・サイト3から

ユーザ端末2にメール配信される2種類の通知書の一方に「今月分引落金額」のみを含ませ、他方の通知書に「今月分引落金額」、「クレジット決済口座残高」、及び「残高不足分」を含ませた例を説明したが、該一方の通知書に「今月分引落金額」とともに現在の又は決済後の「クレジット決済口座残高」を含ませてもよい。また、他方の通知書に「残高不足分」のみを含ませてもよい。さらに、クレジット会社端末4から、口座振替データとともに、「クレジット利用明細書」（クレジット・カード利用日、利用場所（加盟店）、利用金額を含む）をサービス・サイト3に送信し、該サービス・サイト3が該クレジット利用明細書を残高に関する通知書とともにユーザ端末2に電子メールで配信してもよい。これにより、クレジット会社がユーザにクレジット利用明細書を郵送等により送付する手間を省くことができる。

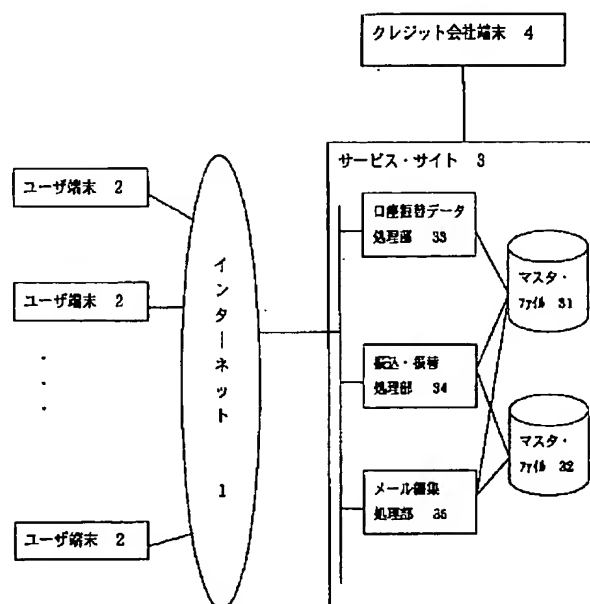
【0015】本発明は、このように構成されているので、インターネット上で、クレジット引落金額、クレジット決済口座残高、残高不足分を通知することができる。とともに、残高不足分があった場合に、不足金額（+追加金額）の振込・振替の処理を自動的に行うことができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るクレジット・カード決済情報サービス・システムのブロック図である。

【図2】本発明に係るクレジット・カード決済情報サービス・システムの部・サイトにおいて実行される動作を示したフローチャートである。

【図1】



【図2】

